

# 新中期経営計画「SIC-II」(2021～2023年度)

長期構想SIC27は3つの中期経営計画で構成されています。第2段階にあたるSIC-IIではさらに新しい成果を積み重ね、変わりつつある社会ニーズに対して真に必要とされる価値を提供し続けていくことを目指します。

## 中長期経営計画の全体像

# 長期構想SIC27

生活者・生命・地球環境の持続可能性の向上に貢献します。

## 新中期経営計画「SIC-II」(2021～2023年度)

目指す姿：新たな時代に貢献する生活文化創造企業

### SIC-IIの基本方針

#### 1 事業の収益力強化

- 戦略的な高収益事業群の形成
- 低収益事業の再編・改革・撤退

#### 2 重点開発領域の創出と拡大

##### 重点開発領域

- サステナブル・サイエンス
- コミュニケーション・サイエンス
- ライフ・サイエンス

R&D体制強化

成長市場への  
集中投資

#### 3 持続的成長に向けた経営資源の価値向上(企業体質の変革)

働き方・  
人事制度改革

DXの推進

ガバナンス  
体制の変革

環境経営の  
推進

### 新型コロナウイルス感染症の影響

- 2021年度：徐々に回復基調
- コロナ前水準への経済回復は2022年度以降
- 海外市場は早期回復

### 社会課題

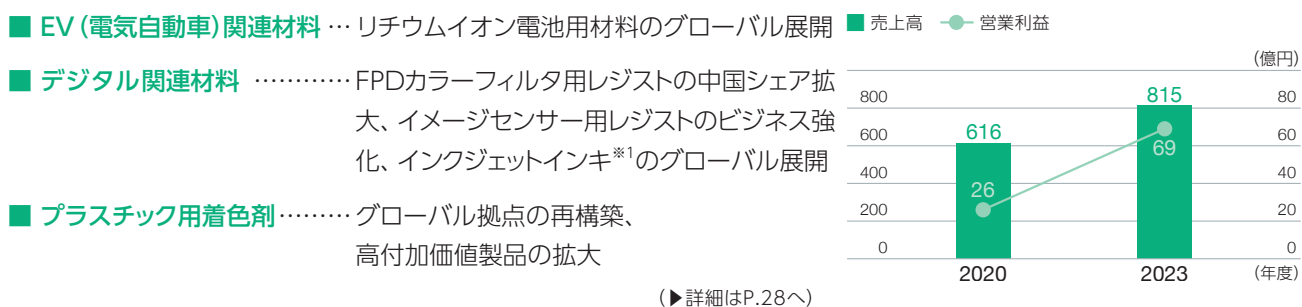
- 気候変動・海洋汚染などの環境問題
- ニューノーマル(価値観や働き方の変化)・デジタルシフトの急加速への対応
- 高齢化社会などによる安全・安心や健康意識の高まり

東洋インキグループは目指す姿として「新たな時代に貢献する生活文化創造企業」を掲げ、3つの基本方針のもと、取り組みを進めていきます。

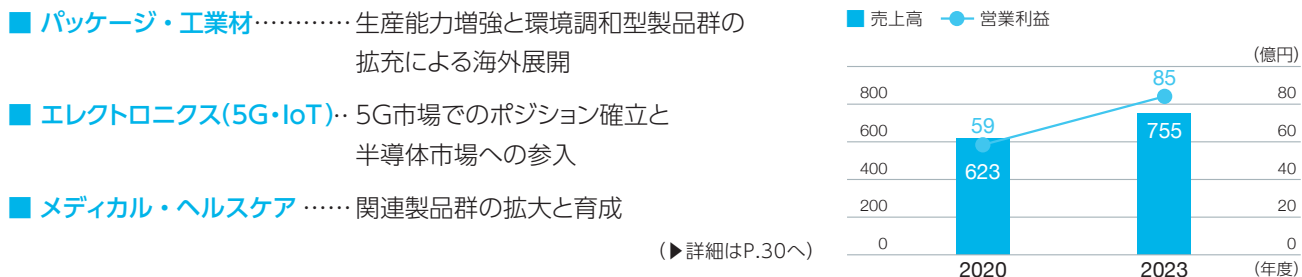
## 基本方針 1 事業の収益力強化

「戦略的な高収益事業群の形成」と「低収益事業の再編・改革・撤退」により事業の収益力を強化し、持続的成長が可能な強靱な事業ポートフォリオの構築を推進していきます。

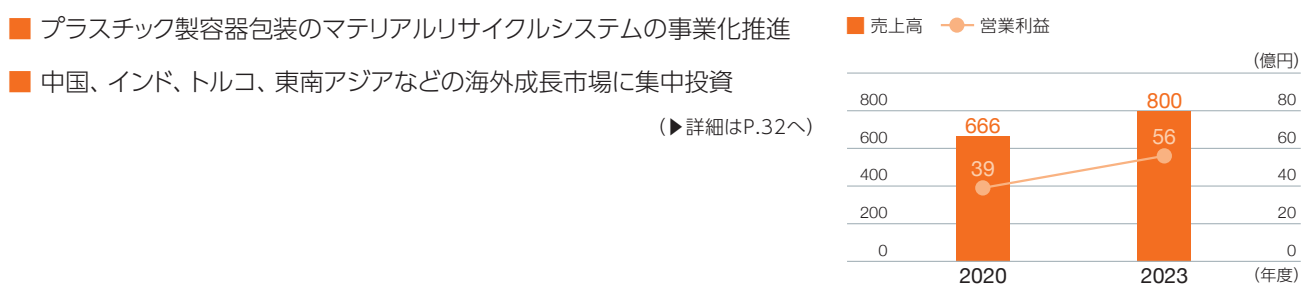
### 色材・機能材 成長市場において収益の柱を確立する



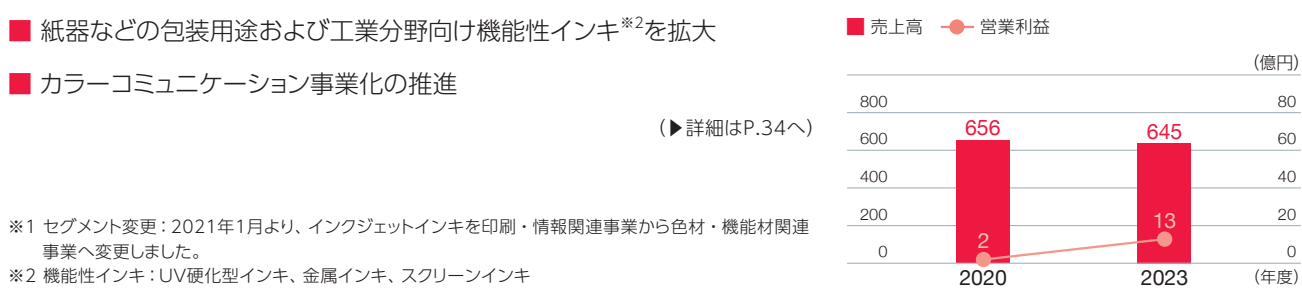
### ポリマー・塗加工 接着剤事業の海外展開と新ポリマーによる成長市場への事業拡張



### パッケージ 環境対応をリードし、特にアジア市場で成長拡大を図る



### 印刷・情報 市場環境に適合した収益事業へ進化する



※1 セグメント変更：2021年1月より、インクジェットインキを印刷・情報関連事業から色材・機能材関連事業へ変更しました。  
 ※2 機能性インキ：UV硬化型インキ、金属インキ、スクリーンインキ

## 基本方針 2 重点開発領域の創出と拡大

東洋インキグループは、新たな社会ニーズを「グリーン：環境問題への意識の高まり」、「デジタル：デジタルシフトの急加速」、「健康：安全・安心や健康意識の高まり」と捉え、それぞれサステナブル・サイエンス、コミュニケーション・サイエンス、ライフ・サイエンスという3つの重点開発領域を設定しました。研究開発機能や重点開発領域への投資を強化することで、それぞれの社会ニーズに対して真に必要なとされる価値を提供し、新たな事業の創出・拡大を目指していきます。

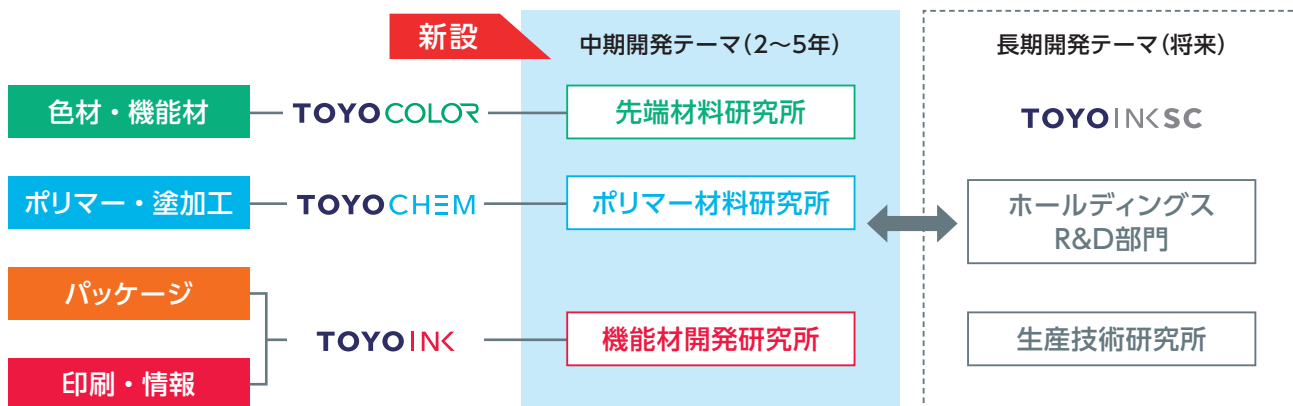
### 重点開発領域

	<h4>サステナブル・サイエンス</h4>	持続可能な社会実現へ	<h4>グリーン</h4>
<p>環境調和パッケージ バイオマス、リサイクル</p>	<p>EV・新エネルギー リチウムイオン電池用材料</p>	<p>売上目標</p> <p>2020年度 340億円</p> <p>▼</p> <p>2023年度 590億円</p>	
	<h4>コミュニケーション・サイエンス</h4>	キー素材・ソリューションで5G・IoT社会に貢献	<h4>デジタル</h4>
<p>IoT・センサー 光学制御材料</p>	<p>5G・半導体 低誘電材料、機能性フィルム</p>	<p>売上目標</p> <p>2020年度 54億円</p> <p>▼</p> <p>2023年度 130億円</p>	
	<h4>ライフ・サイエンス</h4>	人々の生活を豊かに・健やかに	<h4>健康</h4>
<p>メディカル 貼付型医薬品</p>	<p>デジタル印刷 インクジェットインキ</p>	<p>売上目標</p> <p>2020年度 45億円</p> <p>▼</p> <p>2023年度 75億円</p>	

## R&D体制強化

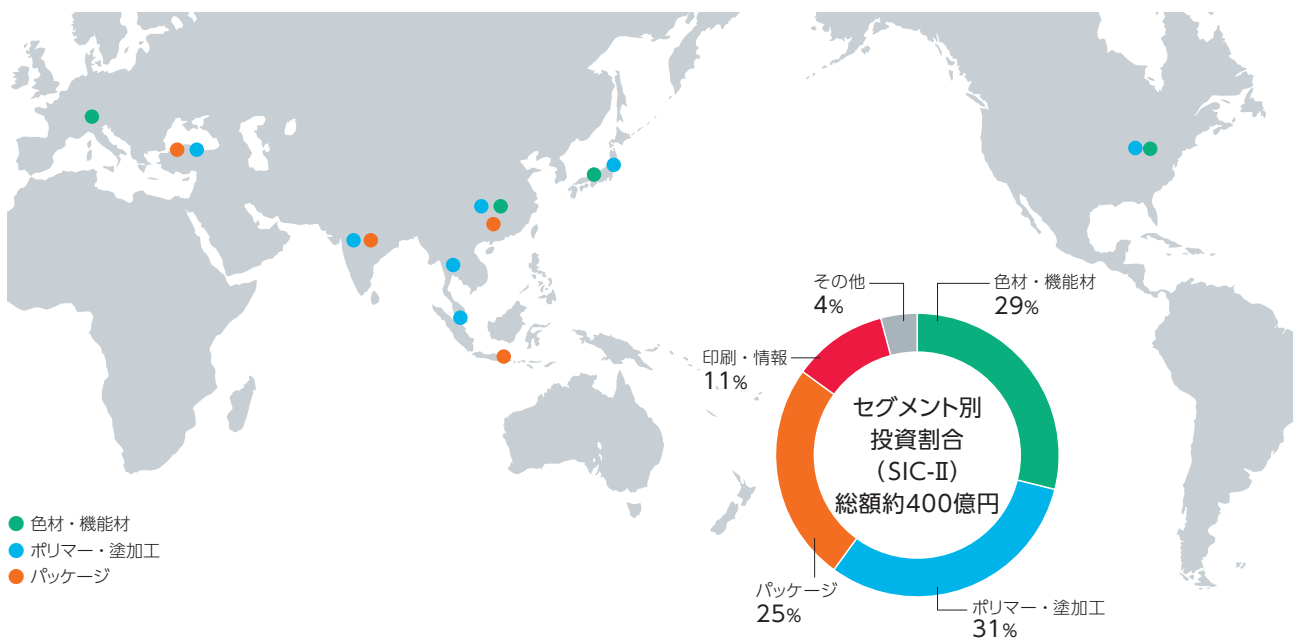
研究開発機能の強化に向けて、各セグメントの主管会社に中期的な開発を担う研究所を新設し、中期的な開発力を高めるとともに、新製品・新事業の創出を加速していきます。

各セグメント主管会社に研究所を新設 ▶ 中期的な開発戦略の専任部門 新製品・新事業の創出を加速



## 成長市場への集中投資

EV(電気自動車)関連材料、医薬品、新興国のパッケージ市場など、ターゲットとする成長市場への集中投資を進め、重点開発領域の創出と拡大を加速させていきます。SIC-IIでは総額約400億円の投資を計画しています。



■ SIC-II (2021～2023年度) およびSIC-III (2024～2026年度) における主要投資先

<b>色材・機能材</b> 約200億円	● 日本・中国・米国・欧州(EV関連材料)	<b>ポリマー・塗加工</b> 約300億円	● 守山(医薬品) ● 川越(新ポリマー合成) ● 米国・中国・インド(接着剤・粘着剤)	<b>パッケージ</b> 約400億円	● トルコ ● インド ● 中国 ● インドネシア
-------------------------	-----------------------	---------------------------	--	------------------------	------------------------------------

### 基本方針 3 持続的成長に向けた経営資源の価値向上(企業体質の変革)

企業の持続的成長を支える経営資源の価値向上に向けて、働き方・人事制度改革、DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進、ガバナンス体制の変革、環境経営の推進への取り組みを強化していきます。

#### 働き方・人事制度改革

- 成果連動型の評価制度強化
- 女性活躍宣言(国内女性管理職比率：2020年度4%→2023年度8%)
- 通年採用の拡大
- グループ人員の適正規模、適正配置
- リモートオフィス(イノベーション創出・オフィス改革)

#### DXの推進

- 持続的成長のための重要経営課題

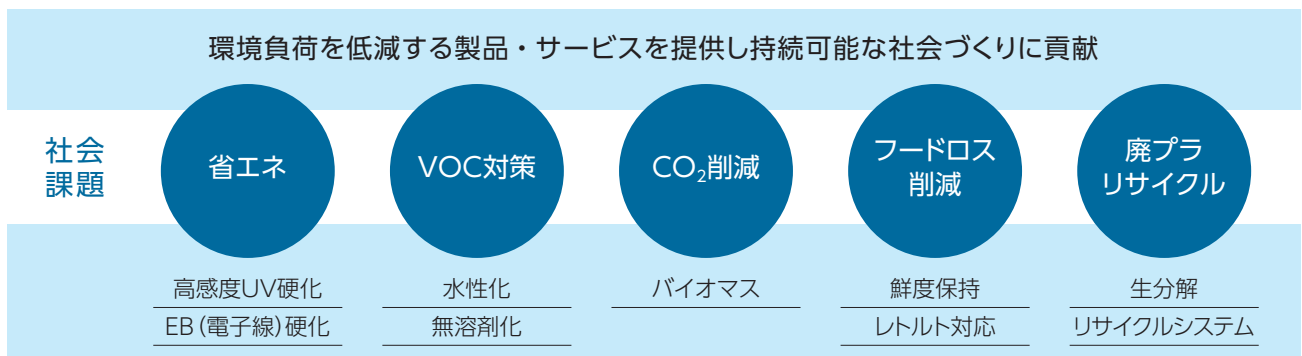
営業	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルマーケティング</li> <li>● 新ビジネスモデル構築</li> </ul>	技術開発	<ul style="list-style-type: none"> <li>● マテリアルズ・インフォマティクスの活用</li> <li>● 開発スピード高速化</li> </ul>
生産	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スマートファクトリー</li> <li>● IoT活用によるプロセス変革</li> </ul>	管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● RPA推進による業務の自動化・効率化</li> <li>● DX推進に向けた教育</li> </ul>

#### ガバナンス体制の変革

- 取締役/監査役の独立性の向上
- 透明性、業績連動の報酬制度
- リスクマネジメント強化
- 政策保有株の削減

#### 環境経営の推進

- 環境調和型製品の開発・拡大



- 気候変動問題への取り組み

CO <sub>2</sub> 排出量削減	2050年：カーボンニュートラルに向けてCO <sub>2</sub> 削減に取り組む
省エネ活動の継続	省エネ大賞 省エネルギーセンター会長賞受賞 (2020年度 トーヨーケム(株)川越製造所)

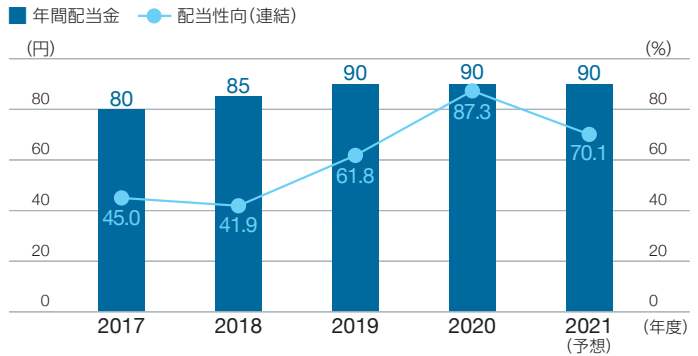
## 財務方針と計数目標

財務健全性、成長に向けた投資、株主還元の適切なバランスを重視した資源配分を進め、SIC-IIにおけるグループの持続的成長を支えていきます。

### 財務方針

財務健全性	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己資本比率</li> <li>手元流動性の確保</li> </ul>
成長への積極投資	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備・技術投資</li> <li>人材投資</li> <li>M&amp;A</li> </ul>
株主還元	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定配当の継続</li> <li>2021年2月に50億円の自社株取得</li> </ul>

### 年間配当額\* 推移



\*グラフにおける年間配当額は2018年7月1日株式併合実施換算後の数値

### 計数目標

中期経営計画 SIC-II 目標	2020年度(実績)		2023年度(計画)		
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	
売上高 3,000億円	616	26	815	69	
営業利益 220億円	623	59	755	85	
営業利益率 7%以上	666	39	800	56	
ROE 7%以上	656	2	645	13	
	15	2	△15	△3	
	連結計	2,577	129	3,000	220

### ■ マネジメントからのメッセージ

新中期経営計画「SIC-II」において、当社グループは企業規模を表す売上高の追求よりも、企業価値を推し量る営業利益および営業利益率を重視しています。当社グループの業績は、ここ数年間にわたって売上高3,000億円・営業利益200億円を目前に足踏みしている状況であり、この壁を越えていくことが目標です。

SIC-IIでのキャッシュ・フロー方針として、財務健全性と投資・株主還元のバランスを重視した戦略を展開していきます。投資については、成長市場・成長地域への集中投資を積極的に進めるとともに、DX推進や人材育成などにも積極的に投資していくことで、グループの持続的な成長の基盤を整えていきたいと考えます。



専務取締役  
(財務担当)  
青山裕也